



2016~2017

国際ロータリー第 2730 地区

週報 佐土原ロータリークラブ

ROTARY SERVING
HUMANITY

RI テーマ
人類に奉仕する
ロータリー

会 長：岩切正司 副会長：郡司武俊 RI2730 地区ガバナー 大重 勝弘
 幹 事：田邊揮一郎 会 計：新原輝彦 中部分区ガバナー補佐 藤堂 孝一
 事務局：吉野由里子 会報委員：中武幹雄 RI 会長テーマ人類に奉仕するロータリー
 例 会 場：ワールドコンベンションセンターサミット 2730 地区テーマ ロータリーを楽しもう！
 例会場住所：宮崎市大字塩路浜山 例会場 TEL：0985-21-1155・FAX 0985-21-
 事務局住所：宮崎市佐土原町下田島 11703-18 TEL0985-62-7833 FAX0985-62-7877

第 1434 回 例会 平成 29 年 3 月 22 日(水)

<本日のプログラム>

1. 点 鐘 ～
2. ロータリーソング ♪手に手つないで
3. 四つのテスト唱和 4. お客様・ビジター紹介
5. 会長の時間 6. 幹事報告
7. 出席報告 8. ハッピーBOX披露
9. 委員会報告 10. 会員卓話「正岡・柳田」
11. ガバナー補佐より 12. 点 鐘

<4 月度 例会プログラム>

- △4/5～夜間例会 「観桜会」・米山奨学金 4 月度
- △4/12～4 月フォーラム・4 月セレモニー
- △4/19～会員卓話「正岡会員・柳田会員」
- △4/26～山脇名誉会員より卓話

■大光寺 座禅体験 早朝例会の様子





大光寺の紹介

大光禅寺は宮崎県那珂郡佐土原町上田島にあり建武二年（1335）、領主田島氏が檀家となり岳翁長甫を開山に迎えて開創されたと伝えられています。やがて創建に必要な田地が康永四年（1345）に田島祐聡から寄進され小高い宝塔山を背に、伽藍がその姿を見せるようになりますそして自国宝殿に貞和四年（1348）に制作された騎獅文殊菩薩と四侍者の群像が安置され開山岳翁長甫の師である乾峰士曇の寄せた開堂の祝偈が読み上げられて読経の声が田島の里に響き渡る時がきました。大光寺開山岳翁長甫の師乾峰士曇は京都東福寺を開いた聖一国師の孫弟子で大光禅寺も東福寺派の寺院として佐土原の地に中世の繁栄を続けてきました。大光寺には多くの中世文書が伝えられ大光寺建立以前の文書もあり田島氏の勢力が大光寺発展に結集されてきた経緯を知らせています。ついで岳翁長甫は興聖寺・大乘寺・正法菴・靈光寺・極楽寺・寶聚寺などを開き大光寺を中心に繁栄を続けました。やがて時移り、文明の頃には領主は伊藤氏の時代になり天文十一年（1542）には京・鎌倉の五山に次ぐ十刹の位置に列せられ大光寺の寺格は四方に聞こえていました。中世の終わり頃、転派の動きがあったのですが近世、佐土原島津氏の支配に変わり雄山玄雄が入寺するに及んで、妙心寺派となりました。その後、括山和尚、活眼和尚、一道和尚と続き一道和尚に見いだされた古月和尚が兄弟弟子英山和を嗣ぐころから大光寺の近世復興は隆盛を迎えました。佐土原藩主五代島津惟久公は古月和尚尚引退後の知又軒を天寿山自得寺として住寺させ六代島津忠雅公も支援を惜しみませんでした。古月禅師は「東の白隠、西の古月」と称えられ、多くの俊傑を育てました。藩主から庶民に至るまで古月の禅風は慕われ論し教える「いろは口説」は佐土原盆踊り唄として今も古月禅師の教えが生きています。

■ 出席報告

榎田直樹会員

会員数	25名	免除会員2名
出席数	13名	
出席率	69.5%	
MU	3名	
欠席届	12名	

■ 4つのテスト

1 真実かどうか

2 皆に公平か

3 好意と友情を深めるか

4. 皆のためになるかどうか